

稲穂北に輝く にぎりめし



令和5年度稲穂北中学校だより

7月号

校長

竹下 英貴

稲穂中HP



西都・児湯地区中体連が行われました！

6月3日（土）から令和5年度西都・児湯地区中学校総合体育大会が行われました。本校からは野球部、サッカー部、女子バレー部、女子ソフトテニス部が大会に参加しました。社会体育としてバドミントン、水泳も個人戦にエントリーしました。各会場では、保護者・関係者の皆様の熱い応援をいただきました。なかなか思い通りの結果は出なかった部活動もありましたが、勝利に向けて立ち向かっていこうという姿が見られました。試合の様子と結果をお知らせいたします。



野球・ソフトテニス・水泳競技は天気にも恵まれ予定通り開催することができましたが、サッカーに関しましては、雨・雷による延期があり、平日開催となりました。3年生は3年間取り組み続けた成果を出そうと必死に頑張る姿が見られました。何かに一生懸命になることができた経験は一生の宝物です。

【試合結果】

野球競技 穂北中2-3三納中 ※判定戦により惜敗

ソフトテニス競技 団体戦 穂北中0-3唐瀬原中 穂北中0-3都於郡中 予選リーグ敗退
個人戦 荒川・早川ペア 1回戦敗退 岩倉・橋口ペア 1回戦敗退 勢井・菊池ペア 3回戦敗退

女子バレーボール競技 穂北中0-2都農中 穂北中0-2都於郡中 予選リーグ敗退

バドミントン競技 個人戦シングルス 黒木柚稀さん 準優勝 **県大会出場**

水泳競技 100m平泳ぎ 藪押晃太さん 記録1分29秒88 優勝 **県大会出場**

200m平泳ぎ 藪押晃太さん 記録3分12秒05 優勝 **県大会出場**

サッカー競技 穂北中0-5三財・木城中

各会場で応援・サポートしていただきました保護者・関係者の皆様ありがとうございました。
県大会を決めた選手の皆さん7月に開催されます県大会で自分が持っている力を出し切ってきてください。県大会には空手競技の生徒も参加します。健闘を祈ります。

進路学習特別講座を行いました！

6月2日（金）に県立妻高校の三浦校長先生と普通科文理科学コース3年の池田遥菜さん、情報ビジネスフロンティア科3年の石川由朱妃さんに来校していただき、本校の進路担当の中尾先生とクロストーク（インタビュー形式）を行いました。三浦校長先生からは「高校は何をすることなのか」という説明をしていただきました。また、進学したい高校を選ぶまでに、中学生はどんなことを意識しておくのがよいのかということについてもお話をいただきました。

高校生のお二人には、事前に聞きたいとアンケートに書いていた内容について答えていただきました。中学生からの質問事項は以下のようなものがあげられました。



質問①高校に入学して、友達を作るのは難しくはないですか？（いろいろな学校から集まるから）

A 私も友達ができるか心配しました。でもいろんな人が多く集まっているので友達はできると思います。

質問②勉強と部活動は両立するのが難しそうだけどできますか？

A 部活動をしている友達はたくさんいます。部活動が終わってから塾に行って勉強を頑張っている友達や、隙間時間を上手に活用して勉強をしている姿をみて自分も刺激になっています。自分のやる気があれば両立はできると思います。

質問③勉強の仕方が分からない教科があるのですが、教えてください。（おすすめの勉強法は）

A おすすめの勉強法は、自分に小さなご褒美をあげる勉強法です。ここまで頑張ったら自分の好きなお菓子を食べようとか、マンガを読もうなど少しのご褒美を準備して勉強すると頑張れる時があります。

質問④勉強しようとするモチベーションが上がりません。どうすればいいですか？

A 私たちも卒業した先輩たちがどの時期から勉強を頑張ったのかとか、どんな勉強をしたのかというアドバイスを聞いて自分のモチベーションにつなげています。

質問⑤つい、ゲームや読書、携帯電話やインターネット（SNSを含む）など自分の好きなことに流されてしまう。どうすればいいですか？

A 友達の連絡も SNS を使って行っていますが、この時間からは自分は勉強するからといって返信をしないようにしています。友達もわかってくれていると思います。

以上は会の中で行われたクロストークの抜粋です。生徒たちは高校の先輩方が語ってくれる一言一言を自分へのアドバイスとして聞いてくれたのではないかと感じています。生きたアドバイスをいただけた貴重な時間になりました。

私立・県立高校説明会を行いました！



進路学習特別講座に続き、6月15日（木）に私立高校説明会、22日（木）に県立高校説明会を行いました。私立高校からは宮崎第一高校、宮崎学園高校、鵬翔高校、日章学園高校、宮崎日大高校、県立からは宮崎北高校、高鍋農業高校、高鍋高校、佐土原高校、妻高校の先生方に来ていただき、各学校の特色について説明をいただきました。私立高校も国からの助成金ができるようになり、以前よりも通いやすくなっています。しかし、その他の経費を考えると県立にもまだまだアドバンテージがあるようです。3年生はこの夏休み、各学校で開催されるオープンスクールに参加して、自分の目や耳で感じる学校の雰囲気を感じる機会にしてほしいと思います。1・2年生の皆さんは、ずっと先のように感じるかもしれませんが、あっという間に来ますよ！自分事として、学級担任の先生方と自分の適性について考えていきましょう。

学校評議員会を開催しました！



【評議委員会の様子】

評議員氏名	役職等
田爪淑子様	市議会議員
黒木利美様	穂北づくり協議会会長
小島貴代子様	主任児童委員
橋口道夫様	自治公民館長
三島美喜子様	前穂北中PTA会計
橋口智俊様	西都市穂北支所長
黒木宏光様	穂北中PTA会長

【評議員の皆様】

令和5年度西都市立穂北中学校学校評議員会を6月20日（火）に開催しました。本校の評議員の皆様は7名の方々にお願いしております。行政の立場、地域づくりの立場、地域住民の立場などそれぞれの立場から本校の取組に対しましてアドバイスをいただきます。今回は委任状の交付と授業参観、本校の取組の説明等を行いご助言をいただきました。

3年生の探究活動始動です！

今年も西都市の全3年生は郷土を学びのフィールドとし、「私たちのよりよい未来は私たちの手で…」をコンセプトとした探究活動「Future We Want」に取り組みます。穂北中では昨年度と同様プロジェクト型の探究に取り組みます。3年生は6グループに分かれ各自が設定した内容でプロジェクトを展開していきます。具体的なプロジェクトの内容は資料の通りです。校内での発表は、7月9日（日）の参観日9：30～11：20の時間に行いました。

その中で最も素晴らしかったグループは8月1日に西都市市民会館で行われる「さいと学アワード」で発表することになっています。

1年生はふるさと探究を行います。7月3日（月）に土地改良資料館、石井記念友愛社を訪問し探究活動を行います。7月4日（火）には記紀の道散策を行った後、西都原考古博物館の古代生活体験館で勾玉づくりを行いました。フィールドワークを兼ねたバスツアー体験した内容や調べたことを、10月8日（日）の学習発表会で発表することになっています。

2年生は7月2日（日）から2泊3日の日程で関西方面（大阪・奈良・京都）への修学旅行を行いました。各グループごとにテーマを決め現地でのインタビューを実施したところです。2年生はこの修学旅行を通して「修学旅行先と郷土を比較する探究」に取り組みます。

グループ	プロジェクトの内容
1	臼太鼓研究部
2	Project Kagura
3	SDGs プロジェクト
4	野菜は主役
5	花いっぱいプロジェクト
6	The future of school

【3年生のプロジェクト】

グループ	プロジェクトの内容
1	清水焼絵付けと伝統工芸
2	薬師寺と法隆寺の創建
3	東大寺大仏殿と南大門の魅力
4	二条城の特徴と歴史
5	金閣寺の特徴と歴史
6	清水寺誕生の歴史と見どころ

【2年生のプロジェクト】

ご協力ありがとうございます！

【7月・8月の主な行事】

7月

- 2～4日…修学旅行（2年生）
- 3～5日…さいと学（1・3年生）
- 7日…漢字検定
- 9日…参観日・ミニバレー大会
- 20日…終業式
- 21日…西都市生徒フォーラム
（オール西都・校則検討委員会）
- 22日～24日…宮崎県総合体育大会

8月

- 1日…登校日、さいと学アワード
※3年生はさいと学アワードに参加
- 6日…穂北小学校奉仕活動
- 10日～16日…学校閉庁日
※部活動もできない期間となっています
- 19日…穂北まつり
※3年生男子による下水流臼太鼓踊り
全校女子によるソーラン節の出場の依頼がきています
- 25日…2学期始業式

本年度の「さいと学」が本格的に動き出したことにより、さまざまな分野の地域の皆様のご協力をいただいています。野菜作りと郷土料理について調べているグループの打ち合わせ会に参加させていただきましたが、地域の方々が「どんなアイデアがあるの？」とか「どんなことを調べてみたいの？」等あくまでもどんな内容を調べていくのかは生徒に決めさせていただける関わり姿勢に感謝しています。探究はテーマを決め調べたり体験した内容をまとめて発表する一連の流れの中でどのようにしてまとめたら相手に分かりやすいか、どのように発表すれば相手に伝わるかなど工夫・改善を図りながら取り組んでいくことに大きな意味があります。その中で失敗したことも「なぜ失敗したのか」「どのようにすれば失敗しなかったのか」と追究していくことでより良い改善方法が見つかっていくところに面白さがあると思います。地域のことを調べ、他の地域と比較して郷土のよさや魅力に気付く、郷土のために何ができるかを考えていきます。将来、この西都市を背負っていける若者に育ってくれることを楽しみにしています。